

平成 27 年度 国指定史跡鹿島神宮境内附郡家跡

郡庁域確認調査

- 1 遺 跡 名 国指定史跡鹿島神宮境内附郡家跡
- 2 調 査 目 的 保存目的のための範囲確認調査
- 3 所 在 地 鹿嶋市大字宮中 139 番地 1 ほか
- 4 調 査 面 積 536 m²
- 5 調 査 期 間 平成 27 年 12 月 7 日
～平成 28 年 2 月 22 日
- 6 調 査 主 体 者 鹿嶋市教育委員会
- 7 調 査 機 関 (公財) 鹿嶋市文化スポーツ
振興事業団

(1) 遺跡の立地

郡家跡は鹿島神宮から南へ約 1.5 km の標高約 32～34m の鹿島台地の神野向支丘に位置します。昭和 61 年 8 月に国指定史跡となり、現在は約 73,600 m² が指定を受け、国指定郡家跡としては最大規模を誇ります。

史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」は、鹿島神宮・沼尾神社・坂戸神社の境内及び古代の鹿島郡の行政機関としての郡家跡が国史跡に指定されたため、これらを含めた総称です。

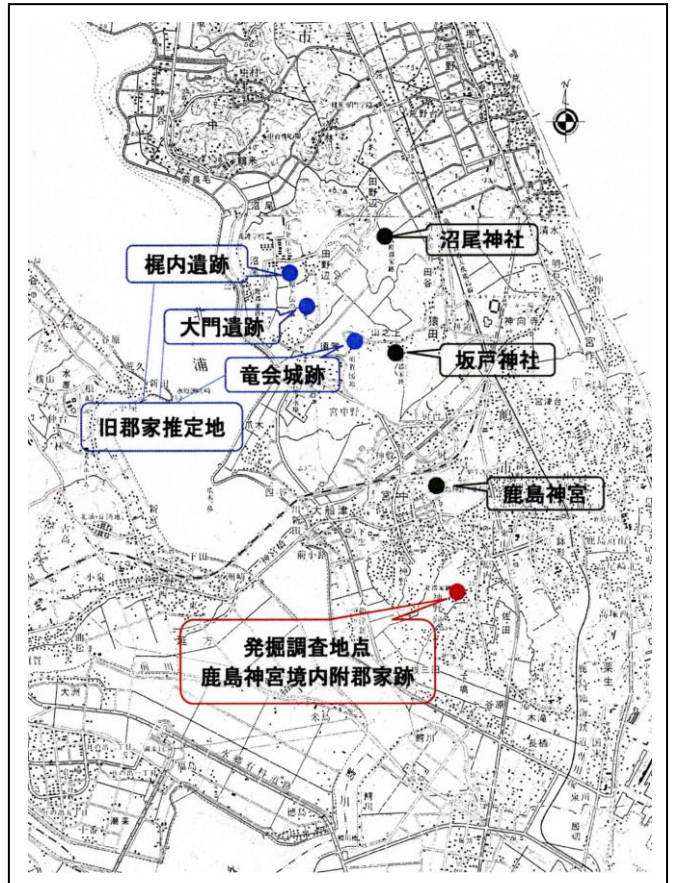
(2) これまでの成果

鹿島郡家跡は、昭和 55 年 2 月の個人住宅に伴う発掘調査を皮切りに郡家の範囲確認調査が実施され、昭和 56 年度から奈良国立文化財研究所(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所)平城宮跡発掘調査部の指導を受け、郡家解明のため本格的に学術調査を開始し、昭和 63 年まで続けました。また、平成 24 年 2 月に独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所の協力のもと、郡庁域及び正倉院域の地下レーダー探査を試みましたが、部分的な調査でしたが、郡庁域の正殿の東西規模が約 16m と推定できました。

A. 郡庁

郡庁は、3 回の建替えを行っています。

第 1 期 郡庁創建期で、南北に長大な建物を配し、一本柱塀を連結させた区画施設内に正殿を配置します。正殿建物規模は、その後の建替えにより柱穴の大部分が破壊されています。区画施設の規模を復元すると、南北総長約 51.9m、東西総長約 53.1m の正方

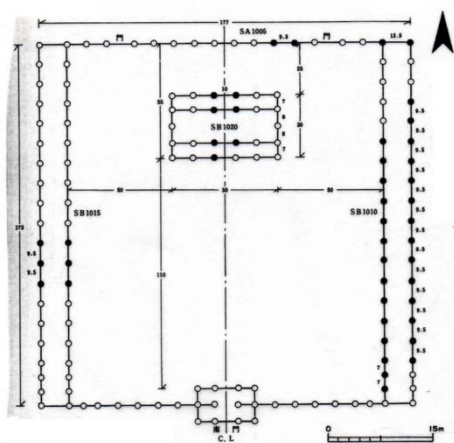


鹿島神宮境内附郡家跡位置図
(国土地理院地図より)

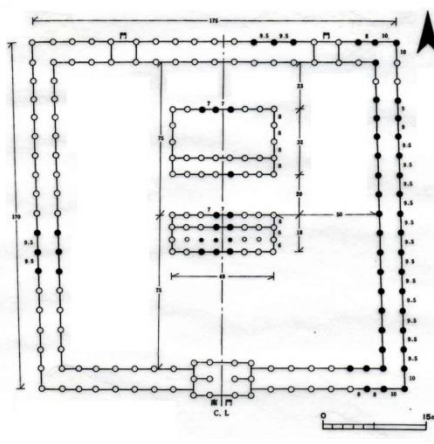
形に近い形となります。

第2期 第1期の両脇殿及び連結した南北の一本柱塀や正殿建物を撤収し、位置も基本的に踏襲して、郡庁の四周を掘立柱の回廊で取り囲み、正殿が建てられます。正殿の規模構造に若干の変更がみられ、正殿の南に前殿が設けられました。

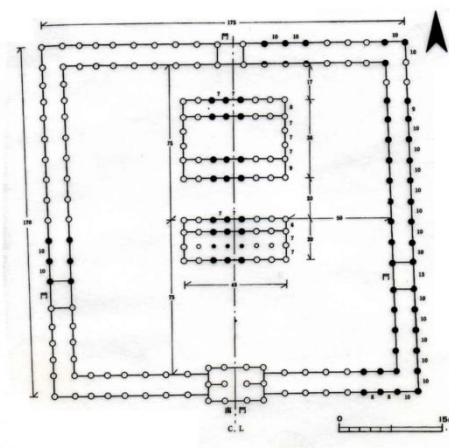
第3期 第2期の建物を全面的に撤収し、位置も基本的に踏襲して回廊が巡らされます。区画寸法から推定し、いくぶん2期の正殿・前殿建物の柱間と若干異なりますが、ほぼ等しい寸法で踏襲した正殿・前殿が建てられます。正殿に南北の廂(南九尺、北八尺)が取り付くと考えられます。



第I期郡庁復原図



第II期郡庁復原図(B案)



第III期郡庁復原図(B案)

B. 正倉院

南北約180m、東西約150mの範囲で大溝に区画された地域に3時期の建物変遷をする正倉院がありました。溝の規模は、幅4～5m、深さ約1.5～2.5mです。溝に付随する柵又は土塁は調査では確認できませんでした。また、西面南北溝・南面東西大溝西端域からは炭化材に混じり多量の炭化米が検出されました。

正倉院からは、総柱の掘立柱建物1棟、掘立柱建物8棟、礎石建物12棟見つかってます。重複関係から雑舎建物を除くと大きく3時期の変遷が考えられます。総柱掘立柱建物→礎石建物(掘込地業)→掘立柱建物(礎石建物位置を踏襲する建物)と移行します。

多量の炭化米の出土は、建物火災を想定することができます。土層から礎石建物時期に火災に遭遇していることが確認されました。



大溝調査風景(昭和55年度)

C. 厨家

郡庁から東約 50m地点において、3時期の建て替えが行われた小規模掘立柱建物と竪穴遺構を検出しました。この竪穴遺構からは正倉院以外からは発見することができなかった炭化米のブロックを検出しています。さらに炭化米のほか多量の墨書土器が出土しました。



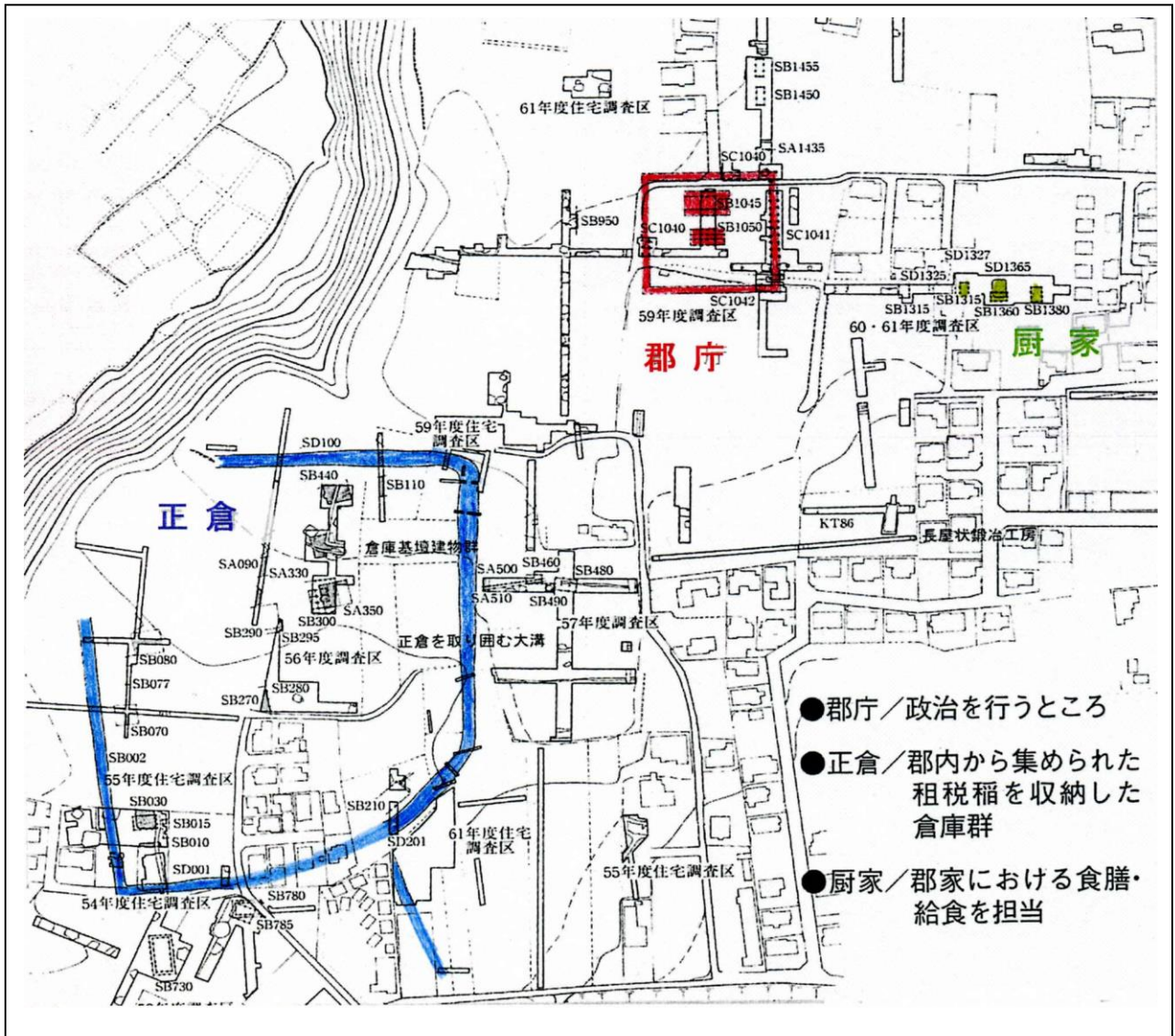
(神宮)



(鹿厨)



(介)



遺跡全体図

(3) 今回の調査成果

昭和 59 年度に調査した掘立柱建物の正殿・前殿の東西の幅を確認しました。正殿と前殿の幅は約 15.7m を測り、柱間は I 期が 5 間、II・III 期が 7 間と推定できます。間尺は I 期が 10 尺等間、II・III 期は前殿・正殿ともほぼ同じと想定でき、中央の 3 間が 7 尺、東西の 2 間ずつがやや広い間尺です。これらの建物の計画された方位は座標軸とほぼ一致します。

また、南門は、後世の大溝に破壊され全く残っていませんでしたが、溝を調査したところ、門の柱穴跡が見つかり始めています。

